

【 診療科:呼吸器内科 】  
 【 レジメン登録番号:IP-39 】

〈 CBDCA+VP-16+Atezolizumab療法 〉

	投与量	投与経路	投与スケジュール(day)														
			1	2	3	4	5	6	7	8	.....	15	.....	21			
テセントリク	1200mg/body	div	○														
カルボプラチン	AUC:5	div	○														
エトボシド	100mg/m <sup>2</sup>	div	○	○	○												

【1コース期間: 21 日】 【総コース数: 4コース】

【適応癌種: 小細胞肺癌】

【時期: 術前、術後、手術不能・進行・再発】

【休薬・減量に関する要件】

項目	基準	減量内容	休薬時の再開基準

投与プロトコール

<day1>

Rp	薬剤名	投与経路(速度)
Rp.1	テセントリク 1200mg 生理食塩水 250mL	div(初回60分、 2回目以降30分) <sup>※1</sup>
Rp.2	生理食塩水 50mL	div(全開で)
Rp.3	デキササート 6.6mg 5-HT <sub>3</sub> R Blocker 1A 生理食塩水 100mL	div(30分で)
Rp.4	エトボシド 100mg/m <sup>2</sup> 5%ブドウ糖液 250mL	div(60分で)
Rp.5	カルボプラチン (AUC:5) × (GFR+25) 5%ブドウ糖液 250mL	div(60分で)
Rp.6	ソリューゲンF 500mL	div(40mL/hr)

<day2,3>

Rp	薬剤名	投与経路(速度)
Rp.1	ソリューゲンF 500mL	div(40mL/hr)
Rp.2	デキササート 6.6mg 生理食塩水 100mL	div(30分で)
Rp.3	エトボシド 100mg/m <sup>2</sup> 5%ブドウ糖液 250mL	div(60分で)
Rp.4	ソリューゲンF <sup>※2</sup> 500mL	div(40mL/hr)

4コース終了後の維持療法

Rp	薬剤名	投与経路(速度)
Rp.1	テセントリク 1200mg 生理食塩水 250mL	div(30分で)
Rp.2	生理食塩水 50mL	div(全開で)

【参考文献: The New England Journal of Medicine DOI:10.1056/NEJMoa1809064、テセントリク添付文書】

【備考:①※1.初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分間まで短縮できる。】

【備考:②※2.day3の最後のソリューゲンFは不要。】

【備考:③4コース終了後、テセントリク単剤で維持療法を行う。】

【備考:④インラインフィルター(0.2又は0.22μm)を用いて投与すること。(テセントリク投与日のみ)】